

企業の資金制約—アンケート調査による分析—

佐々木 隆文 CMA 胥 鵬
佐々木 寿記 花 枝 英 樹

目 次

- | | |
|---------------|---------|
| 1. はじめに | 3. 分析結果 |
| 2. アンケート調査の概要 | 4. 結び |

日本企業へのアンケート調査より、(1) 企業規模は外部資金制約、特に社債発行に関する資金制約と関連している、(2) 現金保有の多さは市場からの資金調達制約の強さを反映している一方、投資資金のひっ迫感を緩和している、(3) 銀行借入依存企業は市場からの資金調達制約が厳しく、相対的に資金制約が強い、(4) 機関投資家による株式所有や社外取締役導入は、大企業では資本市場へのアクセスを改善させる、などの知見を得た。

1. はじめに

企業財務に関する研究において、資金制約が企業の行動や企業パフォーマンスに影響を及ぼすか否かは重要な研究課題であり、数多くの研究が行われてきた。特に、Fazzari *et al.* [1988] を嚆矢とする一連の研究では、資金制約が企業の成長

を阻害するか否かが重要な研究課題となってきた。これらの研究では、適切な資金制約の代理変数を用いることはリサーチデザイン上極めて重要である。また、資金制約の強弱は企業の成長力に直結するため、資金制約の計測は株式評価に関しても有益な示唆をもたらすと考えられる。

先行研究では、資金制約の代理変数として特定

佐々木 隆文 (ささき たかふみ)

東京理科大学経営学部教授。1990年東京理科大学理学部卒業、05年一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)。日興リサーチセンター、名古屋市立大学を経て現職。

佐々木 寿記 (ささき としのり)

東洋大学経営学部専任講師。2006年一橋大学商学部卒業、11年一橋大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)。名古屋商科大学を経て15年4月より現職。

胥 鵬 (しょ ほう; Xu, Peng)

法政大学経済学部教授。1987年筑波大学社会学部卒業、92年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。法政大学比較経済研究所教授等を経て16年4月より現職。

花枝 英樹 (はなえだ ひでき)

中央大学総合政策学部教授。一橋大学名誉教授。1970年一橋大学商学部卒業、76年一橋大学大学院商学研究科博士課程単位修得退学。一橋大学等を経て10年4月より現職。